

# 会 議 録

## 1 会議名

平成26年度第4回新道区地域協議会

## 2 報告事項

(1) 第5次上越市行政改革大綱等の策定について

(2) 避難所見直しについて

(3) 県道板倉直江津線の整備予定について

## 3 開催日時

平成26年7月17日(木) 午後6時30分から午後8時15分時まで

## 4 開催場所

公民館新道分館 2階 多目的ホール

## 5 傍聴人の数

なし

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者(傍聴人を除く。)氏名(敬称略)

- ・委員：秋山茂、飯塚計一、岩下知彦、上野洋一、岡田竹一、金井秀雄、金子俊一、塚田忠次、船崎正保、保坂幸二、松苗ひとみ、松山秋夫(欠席2人)
- ・事務局：中部まちづくりセンター 北島センター長、恩田係長、小林主事
- ・行政改革推進課：山田副課長、竹下係長

## 8 発言の内容

### 1 開 会

#### 【恩田係長】

定刻になりましたので、平成26年度第4回新道区地域協議会を開会いたします。本日の出席人員は現時点で10名でございます。田中委員からは、欠席の連絡をいただいております。秋山委員、金田委員からはご連絡をいただいておりますので、後ほどお見えになると思われま。また、船崎委員からは30分ほど遅刻されるということで御連絡をいただいております。上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2

項の規定により、委員の半数以上の出席がありますので、会議が成立することをご報告します。

## 2 会長挨拶

### 【恩田係長】

はじめに、岡田会長からご挨拶いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

### 【岡田会長】

お疲れ様でございます。今日は急に雷が鳴って、梅雨が明けるのかなと思いきや、そうでもなさそうです。今日は報告事項のみです。一部、皆さんからの質問等を受け、担当課のほうから答えていただくというような場面もございますけども、できるだけ早く終了したいと思います。よろしくお願ひします。

### 【恩田係長】

ありがとうございました。それでは、上越市地域自治区の条例第8条第1項の規定により、会長から議長を務めていただきます。よろしくお願ひします。

### 【岡田会長】

それでは、以降議事進行を務めて参りますが、概ね8時頃には終わりたいと思いますので、お願ひします。なお本日の会議録の確認者は、名簿順により松苗委員からお願ひしたいと思ひます。

## 3 報告事項

### (1) 第5次上越市行政改革大綱等の策定について

### 【岡田会長】

それでは、次第に沿って進めます。次第3の報告事項、第5次上越市改革大綱等の策定について担当課の行政改革推進課から説明をお願いします。よろしくお願ひします。

### 【行政改革推進課 山田副課長】

本日は上越市の行政改革の取り組みについてご説明させていただく機会を設けていただきまして、ありがとうございます。私は、行政改革推進課の山田と申します。

### 【行政改革推進課 竹下係長】

係長の竹下です。よろしくお願ひします。

### 【行政改革推進課 山田副課長】

本日は第5次の行政改革の検討にあたりまして、その基礎となります第4次行政改革の取組み状況や第5次行政改革大綱の策定などについて、20分ほどご説明させていただきたいと思います。その後に皆さんから、ご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

—資料No.1により説明—

【岡田会長】

ありがとうございました。今の説明に関して皆さん意見がありましたら、出させていただきたいと思います。

私から1つ聞きたいのですが。第5次行政改革大綱は、8月にまとめると話には聞いています。それで、10月頃に市民に提示をしたいとのことですが、この大綱の中で、例えば「新しい公共」ですとか、一般市民が聞きなれない、どういうことを指しているのか、分からないという人が大半だと思うんですね。

それから2番目の財政計画。平成32年度までに、今のまま行くと290億円足りなくなるということを言っています。でも、そうではないのではないかと。中部電力、あるいは東北電力の固定資産税が入ってくる。中部電力は25億入ってくるんです。まだ東北電力はまだ確定していませんが、そういうのも合わせれば、行政が言われているものは、ちょっとオーバーじゃないかと思います。言うなれば、住民に脅しをかけているんじゃないかと、いうふうに捉えている部分もあるんですね。この辺を、もっと詳しく説明してもらいたいと思います。また、新聞や多くのマスコミでは、景気がものすごくよいと言っていて、もの凄く税収が上がるんだと言っているわけですね。上越市はマスコミが宣伝するほど、なぜ税収が上がらないんだということも、きちっと説明していただかないといけないですよ。

それから、定員の適正化、この問題についても、最終的に1,750人にするということを言っていますが、それが本当に適正なのかどうか。特に、人材育成の問題について、行政の人たち、ここにおいでになる中部まちづくりセンターの人たちは、今は中部まちづくりセンターにいますけど、来年はどこに行くかわからない。例えば、全然経験も何もない人が入札関係の部署に配置されたとします。業者から出てきたものを、そのまま見積もりとして上げて、これが、最低制限価格という形でやるとなります。人材育成を、定員を抑えて本当にそれができるのかどうかと思います。臨時職員も1,700人超いると言われてっていますが、それ以上に臨時職員を増やすと、本当

に専門性を持った職員というのは、一体全体どれだけになるんですか。

私が特に感じることは、市長も言っているように、各部門に精通した人間を配置することが、これからは至難の技だということです。そうすると、ますます木田庁舎の周辺が強くなって、他の所はいくら懇願しても、ものにならないという事態になる可能性が高いというように思われます。その時にどう対応してくれるのか、住民と本当に分かち合えるものができるのか、と思います。

それと、先ほど言われましたように、行政改革の取組を今迄やってきましたが、具体的にどうするのかということは何も示されないで庁舎内部で検討し、決まったんだから皆さん了承してくださいよというような形ですね。それでは、行政からの一方通行ではないかと思います。

例えば、新道区で集会所と称される所は、どこがありますか、ここしかないのです。芙蓉荘もありますが、芙蓉荘は耐震基準を満たしていないという問題があります。行政のよく言われる、再配置計画をするのであれば、どういう形の再配置をするのかを、住民に明らかにしてもらわなければならない。新道区は他から見れば、全く会議をする所が無い。大勢の人が集まって、懇談をする場所もない。これを見たときに、新道区は市のど真ん中にあるけれど、置いていかれた区だなどと思わざるを得ない。それで、今までは戸を開け放って、扇風機で汗を拭き拭きここで論議をしていた。地域事業費でクーラーを入れて、トイレも直して、ようやく遅れたけど人並みの施設かなと思えるようになりました。ところがこれだけのスペースでは、大きな会合が開けますかということになると、他の区から比べると全く見劣りするなんてものじゃないです。ただそういうものを、どうするのですか。再配置をするのであれば、どういう形の再配置をするのですか。何を廃止し、何を再配置するのかを明らかにして欲しいと思います。これはスクラップします、その代りにこういうのを作りますよというものを明らかにする必要があると思います。

まあ、私だけの意見ではなく、皆さんからの意見も聞きたいと思います。今の説明で多少分かったという人もいるだろうし、何を言っているのか見当もつかないという人もいるとは思いますが…。

#### 【保坂委員】

財政が厳しいのは分かるし、介護保険料は全国でトップですよ。社会保険の負担も多い。だから今やっていることで、財政がそこそこになるのなら結構なことですけど

…。地域の人口が増える努力はしないといけないと思います。現状では、人口がどんどん減って行くので、施設も合併して大変なんですよ。だから、このまま維持をしていこうと思うと、無理しても減らせるものは減らすことを考えないと、このまま維持しようと思うと、とてもできるようなものではありません。

この間、市長も「夕張も面積が大変だから、維持管理するのに縮小する。」という話をしていました。あまり縮小すると、観光の面で上手くいかないとか、難しい話は分かりませんが、これは何かできるんじゃないかというものを探して、減らすことを考えていくことが大事だと思います。

この間テレビでやっていたのは茨城県の日立市、上越市と人口が同じくらいで20万人くらいですが今後増える見込みはなく、筑波市は人口が20何万人で人口がどんどん増えるそうです。さらにこの間、和歌山市の話も聞きました。ほとんどの自治体と同じですが、補助がもらえるから、とにかくもらわないといけない。使わなくちゃ損だといって必要なくても使うと、必ず維持管理費が掛かるから、維持していけない。

財政再建するのに、職員の給料を減らすというのも、言うのは簡単だけど、減らされたほうはたまったもんじゃない。長野県の大滝村なんかは、合併するにも仲間に入れてもらえない。市の職員は給料の40パーセントをカットされたそうです。でも農協や役場、他に働くところもないんです。だから、そこは40パーセントカットされても、何とかやっていかなければならないから頑張っています。けれども、そんな極端なことは、とてもできないだろう。今のまま管理していくのは難しいと思います。今は第3セクターにして管理していますが、どうしても管理していけない施設は、減らしていった方がよいと思います。公園など管理が必要なものが、どんどん増えて行くばかりなので、何とかしたほうがよいと思います。

#### 【金子副会長】

常々考えているんですけど、上越市には観光バスが来て、泊って飯を食べるような施設が全然ないんですよ。観光名所とかは、いくつかあると思うのですが…。交通の便から言うと、高速道路もあるし今度は新幹線もできる。すごくよいと思うんですよ。誘致誘客が、弱いんじゃないかと思います。

#### 【行政改革推進課 竹下係長】

おっしゃる通りだと思います。結局通過点になるにしても、そういった道の駅だと

か…。

**【金子副会長】**

そうですね。でっかい物産館みたいなのを造るとかさ…。あんな小さいちゃちなやつじゃなくてさ…。

**【行政改革推進課 竹下係長】**

施設の話になってしまう部分もあるのですが…。

**【金子副会長】**

あるだろうけれど、そういう金を儲けるような施設を考えていったほうがよいんじゃないんですか。本当に、縮小縮小ばかり考えないでさ…。市役所に行ったって、すぐに金がないから駄目とかさ。そんな話じゃなくて、もっと未来が明るくなる話があれば、人も集まってくるだろうし、経営者も増えれば良い事だろうしさ。そして、子供も増えればよいしさ。縮小縮小縮小ばかりじゃ、皆萎縮しちゃうよね。

**【飯塚委員】**

観光の話が出ましたけど、確かにそういう施設が必要なのですけど。上越市に通年通して観光で、来ていただけるところは無いんじゃないと思います。皆さんは、花見も謙信公祭も観光だと言いますが、私からすれば、ただのイベントだと思っていますね。イベントの為に100万人だとか20万人来たとか言われますけども、一年通して上越市に観光で来れる場所もないし、だから余計にそういう施設が造りにくいんじゃないかなと思うんですよね。だから、一年中お客さんを呼べるような、観光地にしないといつまで経っても、金だけ掛かかるだけで終わっちゃうと思うんですよね。だから余計今度、観光バスの通過だけの可能性があると思いますよ。定着できる、夏でも冬でも来れる観光があればよいと思うんですけどね。

**【行政改革推進課 竹下係長】**

まちづくりの方向性を考えなければなりません。ご存じのとおり小布施は昔からあいった町ではなく、行政ですとか民間が、まちづくりをこうやっていこうと決めた結果として、今、一大観光地となっています。そういったまちをつくるのも、1つの方法と思います。

**【飯塚委員】**

謙信公祭だって3日間終われば、誰もいなくなっちゃう。花見にしても2カ月くらいはお客さんがいるけど、後はいないし。静かになっちゃう。通年で、お客さんが上

越に来てもらえるような観光施設とかそういうものを作っていくながら、今言われた観光バスが何十台も停まるような施設も必要になってくると思うんですけどね。今の現状の観光だと、そういう施設を作っても、冬はどうするんですかとか、そんな話になっちゃうと思うんですよ。

【岡田会長】

この話は、言いだせばきりがなくらい、いっぱいあるので、とりあえずこの辺で区切りたいと思いますが、よろしいですか。

(よしの声)

それでは、ご苦勞様でした。いずれまた、皆さんと膝を交えて、きっちりとやる機会を設けたいと思います。

【行政改革推進課 山田副課長】

先ほど、会長さんから施設の再配置について、勝手に決まっちゃうというようなご指摘がありました。上越市の基本的な考え方につきましては、改めてお伺いさせていただいて、個々の施設にまで話が及ぶかは分かりませんが、市の考え方をお示ししたいと思います。

—行政改革推進課 退席—

(2) 避難所の見直しについて

【岡田会長】

それでは、次の議題に入りたいと思います。避難所の見直しについて、事務局から説明していただきたいと思います。

【恩田係長】

—資料No.2]により説明—

【岡田会長】

この資料について、質問等ございましたら、お願いします。

【保坂委員】

この前、避難所で津波の話が出ていましたが、新道地区と云ったら、関川の河口の津波の高さが基準だと思いますけど。稲田の小学校近辺は地震がきても津波が来ることはないから、考える必要ないと思うんだけど。

【恩田係長】

前回会議で防災危機管理課から説明がありましたけども、上越地域で想定される津

波高の説明がございまして、その想定される津波高の範囲内では、この新道区までは到達しないということです。

**【保坂委員】**

この間、町内会長が出席する会議がありまして、その時に、避難所の話が出たのですが、私の町内には公園が2つありまして、道路から南側の方はA公園に集まって、皆が揃ったら市道を横断して、B公園に集まってから、避難所になっている稲田小学校に避難することになっているんだけど。B公園は稲田小学校からは離れている所なので、避難途中に災害に合いそうな気がしてならんのですけど。災害なんていったら、遠くの方は車で避難してくる中、そろそろと行って、押しボタン押して横断するというのも、何かおかしな気もします。それよりは、あの辺を考えれば水害を考えるべきと思うんだけど…。水害にしても、1メートルも水位が上がるようなことは、まず考える必要ないと私は思うんだけど…。

**【金子副会長】**

分からないよう。笹ヶ峰のダムが決壊して水位が上がったらどうなると思う。

**【保坂委員】**

まあしかし、4メートルも上がらないと思う。

**【岡田会長】**

「7.11水害」の時に私どもの南田屋新田の裏の堤防が、もう15センチメートル水位が上がったら超したんです。盛り上がって流れているんですよ。予想もしない所でゲリラ豪雨が降ると、大変な事になります。例えばですよ、山形のある所なんて水害なんて考えたこともなかった所ですよ。それがどうですか、床上浸水、床下浸水ですよ。ですから、ここはそんなのありっこないというのは、私はどうかと思いますよ。

**【金子副会長】**

そうだね。今は分からないものね。

**【岡田会長】**

もう1つは、地震です。ここで震度7、あるいは震度8の地震が起こらないという保証はありません。その時に、通常の地震であれば問題はありませんが、震度7や8の時には地面が割れるわけですよ。避難所に行こうにも行けないという問題が発生する可能性が高い。もうひとつは、原発ですよ。30キロ圏だから大丈夫だという仮



説では駄目なんです。

今のように原子力編、水害編、地震編、津波編と、こうゆうふうには皆縦割りでして、原子力の場合はどうする、水害の時はどうする、地震の時はどうする、そんなのいちいち使い分けできますか。行政の頭の良い人が考えるにしては本当に滑稽なことです。

例えば、東日本大震災の時に避難所に避難した人は10パーセント。だから、10パーセントでよいですよ、ということで、この円を決めた。じゃあ、余った人はどうしてくれるんですか。恩田係長、行政では概ね10パーセントというふうに決めてるんですよ。

【恩田係長】

過去の数値などから想定されているということでございます。また、災害時の歩行限界距離ということで、1.5キロの円が描かれています。災害のケースによって避難所が異なるということですが、中には耐震の基準を満たしていない施設や、高さが低い所に建っている施設で水害に適していない施設もございますので、そういうことから設定されているのです。最大数を確保しつつ、かつリスクのある施設もあるということをご承知のうえ、現在ある状態で最も良かれと考えられる避難所が指定されたということになります。皆さまがお住まいの地域がどのような体制になるかの詳細については、8月15日の広報上越と一緒に全戸配布される資料でご確認いただきたいと思います。この場合はこっちで、あの場合はこっちでというような形には、新道地区は、ならないとお考えいただいて結構でございます。

【岡田会長】

これについても言いだせば、切りがないのと思いますので、この辺で閉めたいと思います。よろしいでしょうか。

(よしの声)

ありがとうございました。

(3) 県道板倉直江津線の整備予定について

【岡田会長】

それでは、県道板倉直江津線の整備予定についてです。事務局から説明をお願いします。

【恩田係長】

—資料No.3—により説明。その他、県道板倉直江津線の鴨島2丁目地内で予定されて

いる県事業について説明（鴨島2丁目地内については、配布資料なし、以下の質疑は、鴨島2丁目地内の事業に関するもの） —

【金子副会長】

道路幅が広がる訳じゃないんでしょ。ただ、グリーンベルトをするのでしょ。

【恩田係長】

道路の全体幅員は基本的にそのままで、路肩の範囲を広げて、センターラインを消すそうです。

【金子副会長】

家を少しずらしたり何かするの。

【恩田係長】

今の道路線のままで、車の通行区分の場所を狭くするのです。

【金子副会長】

車の通行区分を狭くするたって、車がすれ違いできなくなるよ。

【恩田係長】

すれ違いができなくなる程度にするのです。以前、道路課からの説明にもありましたが、あえて車を通行しにくくするのも、安全確保の1つの方法なのです。要は、いくら制限速度が40キロや30キロといっても、運転手のモラルの問題がございませぬ。そこで、あえて車の通行をしにくくするという安全確保の手法もあるということなので、今年度を実施されるという予定です。

【金子副会長】

山崎医院の所までですか。

【恩田係長】

詳細を認識しておりませんが、概ね雁木が途切れる辺りから山崎医院さんの辺りまでと認識いただければと思います。

【岡田会長】

山崎医院の先までやらないと効果がないんだけどな。山崎医院の先までやると、その先が…。

【金子副会長】

後で、一挙解決かな。

【岡田会長】

いや、一挙解決というわけにもいかない。

#### 4 その他

##### ・次回開催日について

##### 【岡田会長】

次に、次第4、その他です。まずは2次募集の状況について事務局のほうから説明をお願いします。

##### 【恩田係長】

一昨日の15日から受付を開始して、7月31日までが受付期間でございます。新道区の残額は241万円3千円ということでご案内しております。現時点で提案書はいただいておりませんが、事前相談の状況から推測しますと、補助希望額の合計が概ね200万円から250万円レベルであろうと思われまます。場合によっては、配分残額に満たない可能性も大でございます。ということで、皆さま方から地域の方々へ提案の掘り起こし等も働きかけていただきたいと思いますと思っております。提案数としては5事業前後と予想しております。

これから、次回会議の日程を決めていただくのですが、日程を決めていただく前に提案事業数が少ないだろうと考えられることから、次回会議でヒアリングを行うということもあろうかと思えます。仮に8月上旬に次回会議を設定されるのであれば、8月下旬には採択決定に至ることが出来るだろうと思えます。ということで、次回でヒアリングを行うか、それとも1次募集と同様にまずは疑問点の洗い出しを行うのかを、協議いただいた後、日程をお決めいただきたいと思います。

##### 【金子副会長】

会議時間を少し長くして、いきなりヒアリングにしましょうか。

##### 【岡田会長】

洗い出しをやらなくて、ヒアリングやるということにしましょう。それでは、開催日です。

—日程調整—

##### 【岡田会長】

次回は8月8日（金）午後6時30分から新道分館の多目的ホールで行います。

それと、7月8日（火）午後3時から、ユートピア希望館で開催された地域協議会会長会議の報告をしたいと思います。会議の概要としては、検証事項をまとめた中間

報告書の内容について、実際に議論、執筆いただいた委員の先生から直接28区の協議会会長へ報告する会議として開催されて、私が出席して参りました。

「検証会議」は昨年度4回開催されていますが、検証事項のうち「制度上の課題」を中心に議論され、あわせて「地域活動支援事業」に続いて検証を行い、その結果については市が行う事業の廃止や事業費の縮小などすでに今年度の「地域活動支援事業」の実施に一部反映された。平成26年度も引き続き、検証作業は進められておりその内容は来年1月を目処に最終報告としてまとめられるということになっています。

意見交換会では、協議会に対する市からの諮問について、市全域に係る案件は全ての地域協議会に行うべきだとの意見があった一方で、専門性の高い事業では、地域協議会との関わり方が難しいとして、一律的な諮問に疑問を呈する意見もありました。

また、委員の増加策については、若手や女性の公募を促すため、行政から企業に理解醸成を働きかけてほしいとの意見や、委員報酬について、委員が自ら行う研修や情報収集などの活動費用の手当てを願いたいといった意見などがありました。

今後、検証会議では昨年度と今年度の検証結果を併せて、最終報告としてまとめる予定としており、その提出を受けたのち、市では地域協議会の委員を対象とした、地域自治に関するシンポジウムを開催することを検討しているとのことでした。以上で、先日開催された会長会議のご報告とさせていただきます。皆さん聞きたいというような事があれば、お答えしますがいかがでしょうか。

なければ終わりにします。次回は、8月8日（金）午後6時30分から会議を行います。事務局からは何かありますか。

【恩田係長】

ありません。

## 5 閉会

【岡田会長】

それでは、全て終了しましたので、今日の会議は終わりにしたいと思います。ご苦労さまでした。

## 9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線 1449、1547)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。